

極低出生体重児 親の会 “ぴあんず”

吉野 純, 岩田洋子 (杏林大学保健学部看護学科看護学専攻)



“ぴあんず” とは？

「杏 (あんず) の仲間」という意味

ぴあんずは、

小さく産まれたお子さんとそのご家族の安心な育児のために、
お子さんのより良い成長・発達のお手伝いができますように。
と、NICUのスタッフ・保健学部の教員が中心となり、
1999年10月に立ち上げました。

以来、毎年4回ほど定期的で開催し、今年で82回となりました。
同じ経験を持つご家族や保健・医療職との関わりを通して、
心配事や不安が少しでも軽くなったり、解決に向かったりするきっ
かけになればと願いながら、NICU・GCU、小児科の医師や看護
師・助産師、保健学部教員が中心となって運営しています。

活動日・活動場所

活動日：年4回 (5月・7月・10月・2月) いずれかの土曜日

13:00~16:00頃

場 所：杏林大学医学部付属病院外来棟10階 第2、3会議室

参加費：1回1家族500円 (飲み物、お菓子、資料代等)

参加者

- ・出生体重が1,800g未満で生まれたお子さんとそのご家族
- ・お子さんの現在の年齢が小学校3年生までに限定しています。
- ・もちろんお子さんのごきょうだいも一緒に参加できます。
- ・杏林病院で出産された方だけでなく、近隣の親子の参加も大歓迎！

NICU・GCUを退院したばかりの子から、保育園や幼稚園に通園中の子、
小学校に通学中の子などさまざまな年齢の子がいます。

今年度の活動報告

	日 時	参加者	スタッフ	活動内容
第80回 (今年度1回目)	5月11日(土)	3組(親3名、 子ども2名)	小児科医師、小児病棟・ NICU看護師、教員/ 学生ボランティア14名	フリートーク (新学期が始まり環境が変わったことに伴う問題を中心に、成長発達、発達障害 etc.)
第81回 (今年度2回目)	7月13日(土)	9組(親12名、 子ども7名)	小児科医師、NICU看護師、 教員/ 学生ボランティア10名	児童発達支援事業 すこっぴ代表 羽柴優美さん 「就学前の発達支援」勉強会
第82回 (今年度3回目)	2月15日(土)	4組(親5名、 子ども4名)	小児科医師、小児病棟・ NICU看護師、教員/ 学生ボランティア5名	当院理学療法士・作業療法士 「子どもの発達とその支援」勉強会

活動内容

お子様とご家族の方は分かれて活動します。

〔ご家族向け〕

勉強会：小児科医、リハビリ(PT,OT,ST)、発達支援の専門家等

・発達を促すためのリハビリテーション

・子どもへの日々の関わり方

・就園や就学に向けての準備 など

先輩ママや仲間たちとのフリートーク

〔子どもたち〕

別室で、学生ボランティアや他の子どもたちと遊んでいます。

“プレぴあんず” 始めました！2015年から今年で20回

子育て初期の方々へのフォローを強化するため

対象：NICU・GCUに入院中や退院後まもない方

場所：NICU/GCU 病棟内

日時：年5回/ぴあんずと同日(+他の日)のお昼1時間程度

(その後引き続きぴあんず参加も可能)

内容：寝かしつけや授乳、離乳食、健診での悩みなど、乳児なら
ではの気がかりに医師・看護師がお答えします。

同窓会 (2019.10.19)

会創立20年を記念して初めての同窓会を行いました！

3歳とまだ現役のぴあんずっ子から今や18歳になった卒業生まで、
ご家族、立ち上げメンバーの松田先生他多くの方に参加していただき、
懐かしい時間を過ごすことができました。

周囲に同じような状況の子ども、ご家族が少ない中、当時は
インターネットやスマホ、ブログなどまだ普及していない時代で、
とにかく情報を得たくて参加したとのお話、興味深かったです。



保育の様子



親向け勉強会の様子